

金沢町家情報館

オープン 市が再整備、保全活用の拠点に /石川

毎日新聞 2016年11月7日 地方版



開館初日から多くの人を訪れた
金沢町家情報館＝金沢市茨木
町で、久木田照子撮影

町家の価値や活用法を発信する「金沢町家情報館」が6日、金沢市茨木町に開館した。江戸末期の家屋を活用した建物で、内部を自由に見学できる他、町家の活用に向けた相談窓口を設け、町家保全の拠点と位置付ける。

市が2010年、寄贈を受けた「旧川縁(かわべり)米穀店」に、事業費約6600万円を投じて再整備した。木造2階建て延べ200平方メートルで、座敷などは会議室として有料で貸し出す。

市によると、市内には町家が約6000棟残っているが、年間約100棟が解体されている。伝統家屋の減少を防ごうと、情報館では相談窓口を設け、修復手法や補助制度を紹介する。

この日の開館式で、山野之義市長は「町家を守ることは金沢の文化そのもの。町家の活用モデルとしても発信したい」とあいさつ。運営に協力するNPO法人「金沢町家研究会」の川上光彦理事長は「町家の多くは中心市街地にあり、活用は地域活性化につながる」と述べた。

開館は午前9時～午後5時半、水曜休館。入館無料。問い合わせ先は情報館(076・208・3231)。【久木田照子】